

自閉スペクトラム症を中心とする障害児者が行うピアノ・電子オルガンの演奏会

保健学部臨床心理学科 中島 亨

【演奏会の主催団体と説明と歴史】

音楽療育鍵盤指導ネットワーク(音育)は1998年に創設された前身のjet音楽療育研究会の活動開始から約21年間活動を続けている音楽指導研究を目的とした団体です。

音育は元来、ヤマハの音楽講師の団体の活動の一つだったのですが、2008年からはヤマハから独立して現在の団体となり、「音楽指導者による、障害を持った人に対する医療に大きく依存しない音楽指導」という、本邦における障害児者への音楽的アプローチとしては非常にユニークな形式での活動を続けてきました。

【音育の指導理念】

障害を持った人に対する音楽、というと、現在の日本ではすぐに特殊教育や音楽療法といった枠組みにあてはめてしまいがちです。こういった振分けはうまく機能すれば対象となる人にとっては非常によい環境が得られる反面、指導者は、指導の対象がマニュアルから外れたり自分に余裕がなくなったりした場合、指導することをあきらめる、自ら問題解決を試みず専門家に依頼する、などの状況が生まれる可能性があります。このことは、指導現場では経験不足による指導力の低下、専門家の所では負担増から来る指導のきめ細かさの低下、障害を持った人は受け入れ先がなく音楽を楽しむことを断念する、という、全体としてみると好ましくない状況につながりかねません。

音育の理想は、障害を持った人がごく普通の音楽指導者のところへ音楽の楽しみを求めて来たときに、その指導者が音楽を楽しむ方法を素朴に指導できるような環境を実現することです。私たちは、そのために障害を持った人に音楽を指導する場合の見通し、指導するときの様々な方法や工夫、音楽指導によって見られた変化、などについて研究をしています。

【民間の音楽教室での指導の利点】

また、民間での音楽指導では、原則として特別な事情がなければ指導に終了はなく継続される、という特徴があります。このことは、学校教育での音楽指導とは大きく異なる点であり、自閉スペクトラム症の生徒では、例えば楽器の前に座っていられるようになるだけで数カ月～数年を要するなど指導に長時間を要するため、演奏ができるようになるまでに十分な時間を取ることができるというメリットとなります。

【演奏会の開催と障害児者の変化】

音育では2年に1回、障害児者自身が演奏をする演奏会を開催しています。演奏会で演奏をすること、またそれに向けて練習をすることで、障害児者自身の自尊感情が向上し、レッスンにおける内容の順序を変えられない、などの同一性保持の状態から、少しずつ順序を変えても大きな気分の変化が見られなくなるなど、行動の汎化につながった例もあります。

【2019年の演奏会】

2019年は以下の内容で演奏会が開催されました。

イベント名: 第10回「音楽仲間はハートフル」

日時: 2019年9月23日(月・祝) 12:30～開演予定

場所: 渋谷区文化総合センター大和田 6階 伝承ホール

参加人数: 出演者22名 他130名

障害児者とその家族、音楽指導者、音楽療法士、生涯学習音楽指導員、音楽家、施設職員、学校職員、医師

内容: 障害児者による楽器のソロおよびアンサンブル演奏

【本学学生の協力】

なお、開催にあたり、保健学部の学生4名に警備のアルバイトを依頼しました。これは、自閉スペクトラム症では時として「行方不明になる」ことがあり、今回のコンサートホールが初回の利用であって主催者が建物の構造等に不慣れであるため、特に出演者の監視誘導を行う用員を必要としたためです。

演奏会はほぼ定時通りに進行し、無事終了することができました。警備をお願いした学生さんにもできる限り演奏会を見ることができるよう配慮しました。

主催者のスタッフからの本学学生の評価は高く、「滞りなく警備をしていただいたおかげで安心してコンサートが開催できた」と講評されています。

また、アルバイト代ほかを援助いただいた杏林大学にも感謝しています。

【演奏者家族からの意見】

以下に、演奏者、演奏者の家族からの意見を記載します。

●当日の朝は緊張していたようで口数も少なかったのですが少し心配しましたが、演奏が終わって戻ってきてから感想を聞いてみると、「大きなピアノで弾けてすごい楽しかった！」と言っていました。とても貴重な経験をさせていただきありがとうございました。本人も嬉しかったようで、学校の先生や放課後デイサービスの先生にも、自分から話をしてくれたと聞きました。

●出演回数を重ねる毎に物怖じをしなくなり自分にも自信がついたように思います。音楽教室でレッスンを受けるだけでなく、コンサートという目的に向かって、「頑張ろう!」「努力しよう!」という向上心が芽生えたかと思えます。個人レッスンではなくグループレッスンを受けた事で仲間との協調性が出来て来ていると思います。

●会場も解りやすかったので迷う事なくいく事が出来ました。会場の中も楽屋迄迷路のようでしたがスタッフの方が案内して下さったので初めての場所でも不安なく客席と楽屋を行き来できました。